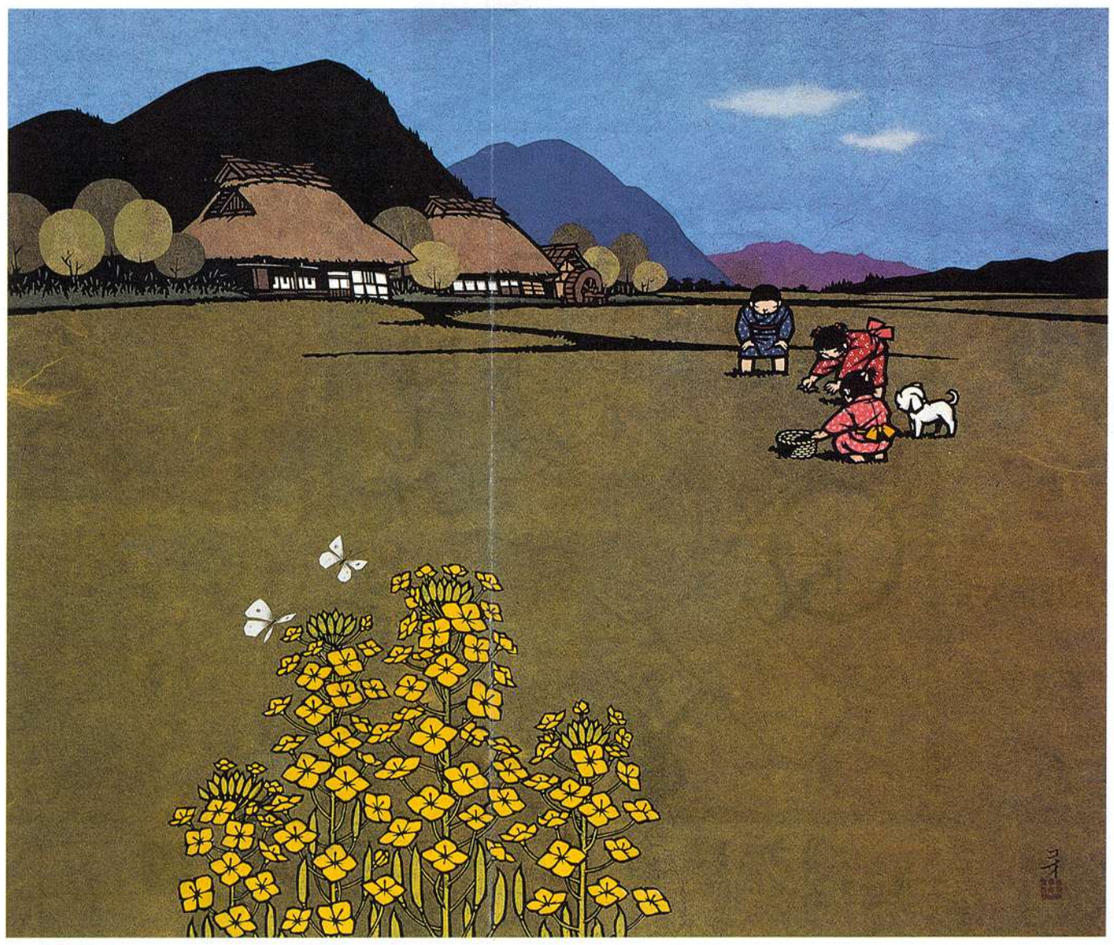
昔日（せきじつ）のわらべ歌（うたき）が聞こえる…

関ロコオ〝きり絵の世界〟展



日時：４月29日(木)～５月９日(日)　9:30～17:00
会場：多目的ホール

プロフィール

一九三七年、群馬県安中市生まれ、本名、武井功吉。グラフィック・デザイン活動を経てきり絵作家に。劇団前進座「心中天網島」のポスターによって世に出て以来、フランス・レンヌ市立芸術大学作品展、西ドイツ・フランクフルト生花センター＆レール市立ハーネブルグ城美術館作品展、アメリカ・シカゴ・ローリングメドウス作品展などと、全国縦断展を含め個展は百数十回を数え、ＥＸＰＯ86カナダ国際交通博、ＥＸＰＯ88オーストラリア国際レジャー博に日本航空参加のマルチスクリーンとハイビジョンによる俳句のイメージ画担当。画集、絵本、さし絵などの仕事により、きり絵に独自の世界を開き、ドイツ・ロマンティック街道を親善訪問するなど国際舞台で活躍。著書多数。

群馬県教育文化功労表彰、サロン・ド・パリ展大賞、中国対外芸術展公司賞、サージマルジス大賞、全日本観光ポスター展銀賞(三回)など受ける。

一九八八年十一月、群馬県沼田市にファンの手になる日本初の〝関ロコオきり絵美術館〟が開館された。

現在、日本きり絵協会委員、日本児童出版美術家連盟会員、サロン・ド・パリ会員、群馬県高崎市在住。

ぐんま こどもの国児童会館通信
GUNMA CHILDREN'S MUSEUM NEWS
第　9　号
1993年４月１日
編集・発行所
「ぐんまこどもの国児童会館」
(財)群馬県児童健全育成事業団
〒373 太田市大字長手字拾八曲り480
ＴＥＬ0276(25)0055㈹
ＦＡＸ0276(25)0059
印刷所
上毛新聞社
〒371　前橋市古市町1-50-21
ＴＥＬ0272(51)4341㈹
掲示板などに掲示して下さい。

今年も募集します！ぐんまこどもの夢大賞

昨年、ぐんまこどもの夢大賞を設け「二十一世紀へのメッセージ　おとなからこどもへ、こどもから未来へ」をキャッチフレーズとして、二十一世紀を担うこどもたちの健やかな成長を願い、大人からこどもに託す夢と、こどもたちが未来にみる夢を作品募集しました。

どの応募作品にも夢がいっぱいあふれ、明るい、力作ぞろいで、希望ある未来に、向かって生きていることに大きな感動を覚えることができました。

今年も、未来に希望と夢を抱くこどもたちの夢と、おとなからこどもたちへ贈るメッセージを作品募集します。自由で夢のある楽しい作品をお待ちしています。

なお、夢大賞のくわしい内容については、次号七月一日付発行の第十号をご覧ください。

（募集予定期間）平成五年八月一日（日）から九月十四日（火）まで。

ぐんま母親クラブフェスティバル

5月16日(日)

昨年５月のフェスティバルのようす

ひかってるネ お母さん!!

今年で三回目を迎える、母親クラブフェスティバル。

群馬県内で活躍中の母親クラブの発表会です。今年も人形劇や手遊びなど楽しい催し物がいっぱいです。

ぐんまこどもの国児童会館 利用のしかた

ぐんまこどもの国児童会館は、どなたでも自由に遊べる施設です。

ただし、次の場合はご連絡ください。

1、団体で利用する場合
①日時・団体名・人数等をお知らせください。
②スペースシアターで学習投影を観覧する時。
・県内の学校等で利用する場合、①の申し込みのほか、減免申請書の提出が必要になります。
・県外の場合は有料になります。
・当日の受け付け、雨天のみの受け付けはしていません。
・時間については「おしらせ」欄の表をご参照ください。
③その他の館内の施設も団体で利用できます。ご相談ください。

2、多目的ホール、研修室を利用する場合
・有料で貸し出しています。あらかじめご連絡ください。

ご利用下さい こども相談室

お子さんについてのさまざまな悩みのご相談をお受けしています。

学習、しつけなどについて、お気軽にご相談ください。

利用できる日は、毎週水曜日から土曜日まで。時間は、午前九時三十分から午後五時までです。

直接、来館するか、電話でも受け付けています。どうぞ、ご利用ください。

おしらせ

休館日のお知らせ

4月 5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)・30日(金)
5月 6日(木)・10日(月)・17日(月)・24日(月)・31日(月)
6月 7日(月)～9日(水)・14日(月)・21日(月)・28日(月)・30日(水)
※毎週月曜日(祝日を除く。祝日の場合はその翌日)
※保守点検日(毎月の末日。日曜日、祝日を除く)
※年末年始(12月27日～１月５日)
※特別休館日(３、６、９、12月の第２火曜日・水曜日)

交通のご案内

電車：東武桐生線　三枚橋駅より 1.5km(徒歩20分)
東武伊勢崎線　太田駅より 5km(タクシー10分)

お問い合わせ・お申し込み ぐんまこどもの国児童会館

〒373 群馬県太田市大字長手字拾八曲り480番地
TEL 0276(25)0055
FAX 0276(25)0059

各室の催し物

室名	プログラム名	期間	準備休
スペースシアター	プラネタリウム「消えた南十字星」	6月6日(日)まで	6月10日(木)～11日(金)
	全天周映画「トゥ・ザ・リミット」	9月29日(水)まで	
クラフトルーム	こども歳時記(注)「みんなでワイワイこどもの日」	4月29日(木)～5月5日(水)	4月13日(火)～16日(金)、5月18日(火)～20日(木)
	リサイクルクラフト①「ピョンバッタ」「パック DE トーテムポール」	4月17日(土)～5月16日(日)	
プレイルーム	「森の中は不思議がいっぱい」	4月18日(日)まで	4月20日(火)～23日(金)
	「ブロック、ブロック、ブロック」	4月24日(土)～6月20日(日)	

注：こども歳時記の会場は、クラフトルームと研修室です。期間中の「リサイクルクラフト①」はお休みします。
＊ビデオライブラリー・パソコンルームは、５月21日(金)保守点検のためお休みします。

スペースシアターの上映時間

曜日＼時間	(9:40)	(11:00)		14:00	15:20
平日	(学習投影)	(学習投影)		全天周映画	プラネタリウム
曜日＼時間	(9:40)	11:00	13:10	14:30	15:50
土曜日	(学習投影)	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム
曜日＼時間		11:00	13:10	14:30	15:50
日曜日 祝日		全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム

スペースシアター観覧料

プラネタリウム	
一般	小・中学生
300円(240円)	150円(120円)
全天周映画	
一般	小・中学生
580円(460円)	300円(240円)

＊(　)内は、20人以上の団体料金
＊幼児は無料です。(ただし、保護者同伴の幼児に限ります)。

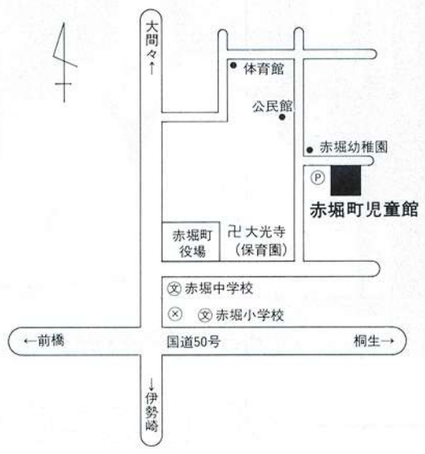
4・5月の催し物

事業名	期日	時間	会場	対象・定員	参加費	申し込み方法
春のこども映画会Ⅰ「はれときどきぶた」	4月25日(日)	11:00、13:00 14:15、15:30	多目的ホール	一般来館者 各回312人(先着順)	無料	当日、会場へ
昔日のわらべ歌が聞こえる・・・関ロコオ"きり絵の世界"展	4月29日(木)～5月9日(日)	9:30～17:00	多目的ホール	一般来館者	無料	当日、会場へ
ハイビジョンゴールデンウィーク特別上映「ウルトラマンキッズ」	5月1日(土)～5日(水)	10:00、11:00、13:00 14:00、15:00	ハイビジョンシアター	一般来館者 座席数40席	無料	当日、会場へ
ぐんま母親クラブフェスティバル「ひかってるネ　お母さん!!」	5月16日(日)	10:00～16:00	児童会館内各所 公園	一般来館者	無料	当日、会場へ
手作り絵本教室1「きって、はがして、絵本をつくろう」	5月23日(日)	9:30～12:00	第1研修室	小学生 24人(先着順)	200円以内	電話または所定の申込用紙で
プラネタリウム特別投影「カアカアからすはなぜ黒い」	5月30日(日)	13:10、15:50	スペースシアター	一般来館者 各回182人(先着順)	大人300円 小中学生150円	当日、観覧券をお買い求めください
おはなしの部屋「おかあさんといっしょ」	5月8日(土)	15:00～15:30	第2研修室	一般来館者	無料	当日、会場へ

紹介します

赤堀町児童館

［所 在 地］〒379-22 佐波郡赤堀町西久保105
0270-63-1001
［開館時間］平日10時〜17時　土曜10時〜15時
［休 館 日］日曜・祝日・年末年始



一輪車に挑戦したよ！

赤堀町児童館を利用するこどもたちが、大いに喜び自慢できるものに「一輪車乗り」があります。

順番待ちのこどもがいるほど、みんなを熱中させてしまう一輪車の魅力を探ろうとおじゃましました。

外ではすでに二十数人が練習をしていましたが、手すりを伝いながら、おっかなびっくり進む子、友だちに支えてもらっている子、その間を自由自在に乗り回っている子とさまざまです。

「ちょっと見ててね」と少女らが得意技を披露してくれました。

「ぼくにも乗れるかな？」
「かんたんだよ」

両手を広げてバランスをとりながら進み、力強く斜面を乗り越えると、ブロックの上に置かれた缶を取っていきます。

今度は曲がる方向に体をよじらせながら、きれいなカーブを描いていく「八の字」や「スラローム」。息を合わせるのが難しそうな、数人で手をつないでの並進や円、ウルトラC級の「バック」など、それは見事！なものばかりです。

おもしろくてたまらないという女の子はまだ六歳、ひと月で乗れるようになったそうです。

「簡単だよ」の一言に、「取材をするなら、何事も体験！」と挑戦してみることにしました。

「ヨシッ！」と気合をいれたものの、イスに座るだけでひと苦労です。手すりにつかまり、ソロソロ進むのですが、体中に力が入り、思うように前へ出ません。勇気をだしてペダルを強く踏んだとたん、後ろへドーン！

「なんのこれしき！」気をとり直して、もう一度挑戦です。バランスをつかむのがとても難しく、手すりにつかまる手には汗をかいてきました。

三十分ほど乗っていると体も慣れ、ほんの少しですが手を離せるようになり感動しました。

しかし、体中痛いし、足はガタガタ、今にもツッてしまいそうです。

すぐ横をサーカスのように通り過ぎて行くこどもたちも、きっと根気強い練習を繰り返し、一人で乗れるようになったのでしょう。一輪車乗りで得たガンバリ精神を、他の面でも生かしてくれるにちがいありません。

みてみてすごいでしょう

第46回上毛かるた競技県大会

（小学生　個人の部）

優勝　入沢（いりさわ）　二葉（ふたば）さん

（嬬恋村芦生田子ども会
現在　嬬恋東中１年）

ぐんまの達人

二月七日（日）。前橋市の気温は二十二度、五月上旬並みの陽気だ。

しかし、決勝戦。会場の中は、ひんやりとして静まりかえっている。かるたを読む声だけが響きわたり、一枚一枚が緊張の連続だ。

最後の一枚が読まれるとあっと言う間に札はとられ、同時に会場もざわめきだした。

小学生個人の部で優勝した入沢二葉さんは、昨年五年生の時にも四位に入賞した実力者。

嬬恋村から県大会に出場するには、一月中に行われる各子ども会の大会、村の大会、続いて郡大会で、すべて優勝しなければなりません。そして県大会では六連勝し、決勝戦に進出、見事、優勝を決めました。

最初、硬かった表情も話しているうちにだんだんとほころび、笑顔を見せてくれるようになりました。

「上毛かるたの中で好きな札は？」という質問には「特にない」という答え。アレッ？　と思っていたら、取り札の絵が好きだとのことで、好きな科目も図工だそうです。

しかし、四十四枚のかるたは、もちろんすべて覚えています。そして、毎日の練習も欠かしません。家での読み手はお母さん。お母さんも、とてもうれしそうでした。

最後に「将来は何になりたい？」の質問には「内証」という答え。二葉さんの十年後が、とても楽しみですね。

さて、群馬県民の皆さん、小さなころから親しんできた「上毛かるた」、今いくつ言えますか？

情報、待ってます！

皆さんのまわりに達人はいませんか？こんなスゴイことができる、できる子を知っているという方、ご連絡ください。

一口メモ　〝上毛かるた〟

昭和二十二年の秋、第一回発行。

全県民から募集した編集資料二百七十二件をもとに、十八人の編纂委員が、史跡、名勝、人物、産業、文化等で群馬県を代表する資料を厳選、四十四枚のかるたが出来上がった。

取り札の絵は、小見辰男画伯によるもので、一度、かき換えられている。

そして、読み札の裏の解説は、歴史研究家の丸山清康氏が執筆した。

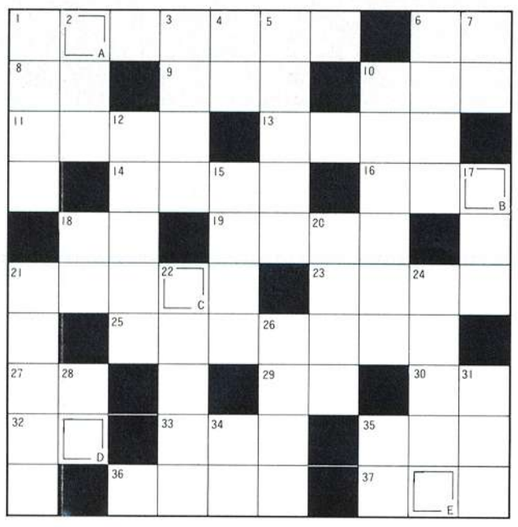
現在の発行部数は、百万部を超え「県競技大会」も昭和二十三年から現在まで続けられている。

決勝戦のようす

カルト石川の なんでもQ

タテ・ヨコの問題に答えてクロスワードを完成させてね。ＡＢＣＤＥの文字を組み合わせると、ある場所の名前がでてくるよ。
答えは、**こどもの国**にくるとわかるよ。

答え　□□□ノ□□



タテのカギ

1 スペースシアターの入り口にあります。「管理○○○○」
2 バイキンマンと○○○チャン
3 新しい道路や橋ができたとき行います。「○○○○式」
4 入ることを英語で言うと？。
5 ○○○○○たハガキは郵便局へ持って行くと手数料で交換してくれます。
6 スポーツなど何事も「○○○○がものをいいます」。
7 紙につつんですてましょう。
10 時間を旅行できるキカイ。
12 ここの施設の休館日は、何曜日？。
15 アセをかいた後あびると、サッパリします。
17 英語にもなった「Ｅｋｉｄｅｎ」は、各チームの選手がここを走って競います。一番の選手は「○○○賞」。
18 ピャ　○○　ピョ。
20 海に住んでいる軟体動物「○○○○」。触角が、ある動物のツノに似ていることからつきました。
21 ここの施設も分類上は、この仲間です。
22 ゴジラこと松井選手は「巨人軍に○○○○○」しました。
24 とんねるずの曲「○○○○○」文字のならびを変えると食べられるものになります。
26 クラフトルームのとなりにある小さい部屋。やきものができます。
28 地球にやさしい、○○マーク。
31 今でも世界の各地でおきています。
34 英語でロブスター。日本語で「○○えび」。
35 ヘンゼルとグレーテルにでてくるのは「お○○のいえ」

ヨコのカギ

1 この施設の名称「ぐんまこどもの国○○○○○○○」。
6 ○○には十分気をつけましょう。
8 人にはこれがあります。「○○、不○○」。
9 性格がくらいこと。
10 スピードスケートやスキーなどはこれで競います。
11 月がこの時は見ることができません。
13 こんな「かけ声」をかけたりもします。プラネタリウムの番組にもありました。「○○○○！　スターフレンド」。
14 ここの施設で発行しています。今皆さんが見ているもの。
16 ノルウェーの画家で表現派の先駆者。代表作は「叫び」。
18 ひよこは、こんなふうになきます。
19 火事などのときでてくる馬は？。
21 １ダースの鳥は、何羽になりますか？。
23 アメリカにある五大湖の一つ。州の名前にもあります。
25 ３階にありこどもの国をながめられるところ。皆さんがよくここで弁当を食べたりします。
27 下の反対。
29 これを使ってかみのけをとかします。
30 さつまいもを使った「・・いも」は、女性の好物。
32 「現在」、「○○」、「未来」。
33 ４月の誕生石。「○○○モンド」。
35 月が太陽を全部かくすと「○○○日食」になります。
36 最近日本の各地に落ちています。宇宙からのおくりもの。
37 皆さんの指にあります。しかし同じものはありません。

トピックス

ぼくらのおうちは ミルクのおうち

太田市児童センターでは、このたび、牛乳パックで造った「ミルクのおうち」が完成しました。

牛乳パック千八百六十五個を使用して造った「おうち」の中には、テーブルやイス、そしてベッドや食器棚まであります。

四人の児童館職員が設計し、遊びに来たこどもたちや母親クラブのお母さんたち、そして老人会の人たちなど、みんなで力を合わせて造りました。

牛乳パックは、親子クラブを中心とした近くの人たちが持ち寄り、たくさん集まりました。いま、余った牛乳パックで新しいイスを製作中です。

昨年十月に製作を開始してから四カ月、二月十二日に無事、屋根を乗せて完成しました。まさにみんなの力の結晶です。

楽しくて、丈夫な「ミルクのおうち」は、いつまでも児童センターのシンボルであり続けることでしょう。

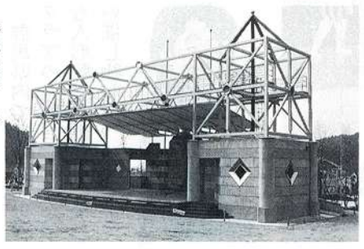
情報、待ってます！

皆さんのまわりに耳よりな情報はありませんか？

珍しいこと、すばらしいできごとなど紹介したいことがある方、ご連絡ください。

三情報

4月20日オープン！ ぐんま こどもの国


野外ステージ

児童会館に来たことのあるお友達なら、もちろん公園のサイクル広場やじゃぶじゃぶ池で遊んだことありますよね。その公園が、この春もっとおもしろくなります。

児童会館の前にある、からくり時計の後ろでは、ずっと工事をしていました。きっと何ができるのか楽しみにしていたお友達も多いと思いますので、その一部を紹介します。

一番手前の三角の赤い塔のある建物は野外ステージです。芝生の斜面に座って、楽しいステージを見ることができます。

山の斜面には、木で造られた回廊。階段になっていて、途中にアミの橋や滑って下りられるパイプがあってスリル満点です。

広場の中央には、ロープで作ってある、とても高く登れる遊具などがたくさんあります。

木製回廊

春は体を動かすのにとてもよい季節。ぜひ、皆さんも外で思いっ切り、遊んでくださいね。

ここで紹介したもののほかにもいろいろなもので遊べます。

詳しいことは、公園サービスセンター（二二二―一七六六）または、金山総合公園管理事務室（二二二―一四四八）まで、お問い合わせください。

こんな遊び知ってる？
―リングまわし―

春風を切って遊ぶ「リングまわし」を紹介します。これは大きな輪を棒一本であやつって、走りながらころがす遊びなんだよ。リング（輪）が倒れないよう、自由に方向を変えながら走るには、コツがいるんだ。

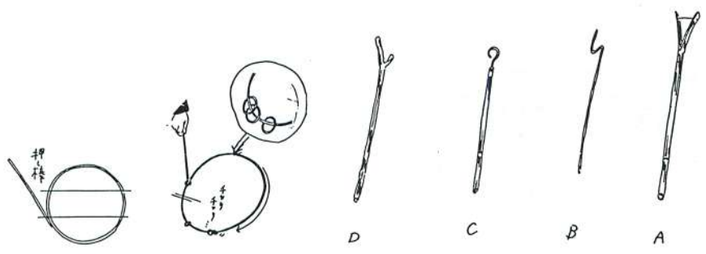
道具は針金などで作れるから、さっそく作って遊んでみよう！

―つくりかた―

〈リング〉
①太い針金（輪にしてつぶれないくらいの太さ）で、直径が自分のおへその高さになるよう輪をつくる。
②輪にした針金が十五センチくらい重なるようにニッパーで切る。
③重なった針金の部分にビニールテープを巻きつける。

〈押し棒〉
四種類の中から好きなタイプを作ってね。
A、竹の先を割り針金をはさむ。
B、針金の先をＺ型にまげる。
C、棒の先にＱ型の針金を差し込む。
D、先が二つに分かれた枝を使う。

☆楽しく遊ぶヒント
・輪に小さい輪を通すと、走る時、音がするよ。
・押し棒を輪の三分の一の所にあてると回しやすい。
・広い公園など思い切り走れる場所で遊ぼう。



あとがき

この記事が読まれるころには、読者の皆さんも就職、転勤、進学や進級などで忙しい思いをされていることでしょう。

私は通信の編集委員になって、はや一年がたとうとしているが、編集委員とは名ばかりで、いつも他の編集委員に迷惑をかけている。いろいろとごたくを並べるだけでなく、やることもやるカルトＩ氏（「おたく」から「カルト」に進化したとは違い、文句だけ言うのは一人前である。

そんな私も、児童館の取材に同行し、一輪車の体験をしてきた。

うわさによると、Ｉさん（Ｉ氏とは別人）とＴさんは、一輪車に乗れるかどうか、お昼をかけたそうだ。Ｔさんは軽い気持ちで言ったようだが、Ｉさんは筋肉痛になるほど真剣に挑戦していた。Ｉさんは見事乗ることができたが、その後お昼のかけはどうなったか不明である。

今回、紙面の構成を若干変更し、新たに四コマまんがとクイズを掲載してみた。

クロスワードクイズのようなものには、隠れた？才能を発揮するカルトＩ氏が担当した。

Ｉ氏も簡単にできるものと考えていたようで、軽く引き受けたものの、いざ問題をつくるとなると情報通のＩ氏もかなり苦労していたようだ。そんなＩ氏の苦労の結晶であるクイズにぜひ挑戦してみてください。

今後も読者の皆さんに親しまれる紙面づくりに心がけたいと思いますので、ご意見、ご要望がございましたら、ぜひお寄せください。

（風疹（ふうしん）にかかり「ゆでひきがえる」になったＳ氏）